

ドラえもんだったら、北海道観光をどう盛り上げる？観光客にタケコプターを配つてひろい北海道を飛び回り、タイムマシンで開拓時代の見学ツアーを企画する？それともほんやくこんにやくを食べて、世界から訪れた観光客をもてなすかも？ICTの力を使えば、そんなマンガのような世界を体験することが出来るかもしれません。

身近な話題から北海道経済についてみんなで考える＜café de けいざいナビ＞の第1回テーマは「北海道観光とICT」。はじめにAR（拡張現実感）の技術を用いた北海道観光の活性化事例を小樽商科大学の深田秀実准教授に紹介していただきます。スマホの中に広がる観光シーンはまさにドラえもんの世界観です。観光のあり方は最先端の情報通信技術によってまさに21世紀型に進化しつつあります。ゲストコメンテーターには北海商科大学の加藤由紀子教授をお迎えし、長年北海道の観光ビジネスを研究してきたキャリアに基づき今後の北海道観光についてどう展望するのか、鋭くも分かりやすい解説を展開していただきます。

後半はけいざいナビ北海道の保田隆明、磯田彩実の両キャスターの進行で、会場の参加者も巻き込んだ斬新な観光トークを展開する予定。当日は北海道経済を楽しく伝える「けいざいナビ」取材現場の紹介やテレビ北海道の局アナの登場もあるかも？！乞うご期待。

Guest speaker

ゲストスピーカー



小樽商科大学准教授

深田 秀実氏 Hidemi Fukada

1965年生まれ。岩手県出身。小樽商科大学社会情報学科准教授。
旧建設省土木研究所、盛岡市総務部情報企画室などを経て、2009年から現職。この間、岩手県立大学大学院ソフトウェア情報学研究科博士後期課程修了。博士（ソフトウェア情報学）。
小樽運河周辺を主なフィールドとして、スマートフォンを用いた観光情報システムの研究・開発を行っている。また、地理情報システムを用いた観光行動分析にも興味をもっており、新たな分析方法を観光情報学会の研究会で発表し、優秀賞を受賞。大学の教室内にとどまらず、学生とともに現場へ行き、自ら課題を見つけ出し、その解決方法を模索する「実学実践」に重きを置いた教育・研究活動を展開している。

Guest commentator

ゲストコメンテーター



北海商科大学教授／元日本航空

加藤 由紀子氏 Yukiko Kato

札幌市生まれ。北海商科大学商学部教授（観光学・観光ビジネス論・キャリアリテラシー）。
研究分野は「グリーンツーリズム（都市と田園地区との交流）」と「キャリア形成のための初年次教育」。
日本ビジネス実務学会評議員・日本国際観光学会・初年次教育学会・観光情報学会会員。
日本航空札幌支店で、おもに国際旅客サービスや教育研修を担当。その後専門学校や大学で観光産業に携わる人材の育成に関わる。また、まちづくり団体活動などに参加している。2006年から北海商科大学国際交流センターで留学生の支援を行なっている。

「カフェ ド けいざいナビ」は、飲み物を片手に“けいざい”的話をするイベントです。とかくとつづづらじ経済の話題を、ゲストの研究者に話を聞くだけでなく、TVhで放送する「けいざいナビ北海道」（毎週日曜午前11時半～12時）の取材現場の様子も交えてお伝えします。私たちの生活と密接に結び付く“北海道経済のダイナミズム”を語り合いましょう。

お問い合わせ／



ひるがる
7チャン

TVh
テレビ北海道

011-232-7160

www.tv-hokkaido.co.jp

札幌市中央区大通東6丁目(平日10:00~17:00)